

唯物論

9 1978.5

唯物論編集委員会編

特集●文化

芝田進午＝現代文化論の課題

岩崎允胤＝文化と創造

福田静夫＝「文化的自然」の諸問題

〈特別寄稿〉

家永三郎＝日本文化史像をめぐる権力との葛藤

石子順＝大衆文化の可能性めざして

長沼真澄＝文化要求としてのスポーツ

●批判と討論

鈴木茂＝科学以上の科学は必要か

仲本章夫＝「論理的矛盾」の性格をめぐる

汐文社



大月書店

東京文京本郷2 11 ●電話03(813) 4 6 5 1

■模索と探求の書■

先進国革命と

多元的社会主义

田口富久治著 ユーロコミュニズムともよばれる先進国革命路線の理論的特質とそれがめざす社会主義的未来像を、最新の理論的到達点をふまえて紹介・検討した力作。一四〇〇円

スターリン問題

研究序説

中野・高岡・藤井編著 マルクス主義とスターリン主義を同一視する反共理論を批判しつつ、スターリン主義の歴史と理論の核心を分析し、新しい学問分野をきり拓く。一八〇〇円

自主管理社会主義

と非同盟

ユーゴスラヴィアの挑戦
カルデリ著／山崎洋・那美子訳 多様化する現代社会主義のなかで独自の創造的モデルを追求し、築いてきたユーゴスラヴィア社会主義の理論と実践を大胆に解明する。一五〇〇円

国際的反映を呼ぶ研究成果＊第一期完結

マルクス経済学レキシコン

久留間 敏造編

菊判特製函入

物理学とは

どういふ科学か

宮原将平著 人類の自然認識をつねに一步奥へとすすめてきた物理学。その歴史の随所に光る科学的な考えかたを発掘しまた物理学がひらきつつある明日の自然観を語る。九八〇円

社会科学と

自然科学の方法

井尻・工藤著 独創的な研究をすすめる自然科学者とエコノミストが、資本論の方法への新たな検討を加えつつ、今日求められる科学の精神と方法を大いに論じた好著。九八〇円

自由主義とファ

シズム ブルジョア支配の諸形態

キューンル著 伊集院立訳 近代ヨーロッパがファシズムを生むにいたった政治的・思想的過程を膨大・鋭利な論考をもとに分析し、現代国家論に両面をなす話題の書。一八〇〇円

久留間博士の半世紀をこえる研究の成果。マルクス主義の

核心をその創始者たち自身の言葉で構成し、おのずから通俗的理解の徹底的批判と現代的体系化への基礎をなす。西ドイツで欧州版が刊行中で、各国で高い評価をえている

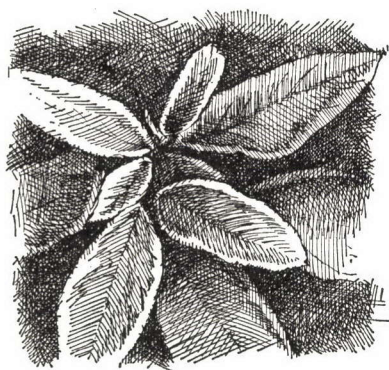
●各巻定価 1 競争／2 3 方法 I II 4 5 唯物史観 I II
6 7 9 恐慌 I IV 以上各四〇〇〇円 10 索引五五〇〇円

●大月書店図書目録・国民文庫目録をさしあげます。お求めは書店へ 小社直接のとき送料100円

唯物論

第 9 号

『唯物論』編集委員会



汐文社

